

日本基督教団 部落解放センター主催  
第25回 部落解放ユースゼミナール（仮称）  
お誘い文

「差別を受けた者は他の差別に加担しない。」みなさんもそのような言葉に触れたことがあると思います。しかし、部落差別をはじめ、様々な差別問題を学んでいくうちに、それはただの“幻想”なのではないか、と考えてしまいます。差別の現実には想像よりも過酷です。

数多くのキリシタンが弾圧された地、長崎。その弾圧の手先とされたのが部落民たちでした。マイノリティとして、時の権力者に翻弄されてきた部落民とキリシタンたち。彼ら、彼女らはどのように生きていたのでしょうか。両者にあるのは憎悪と対立のみの歴史なのでしょうか。原爆投下以降、長崎の街はどのような道りを経てきたのでしょうか。

今回のユースゼミはそのような歴史が残る長崎市内で開催します。差別された人々の歴史をフィールドワークで知りましょう。そして共に考えつつ、差別からの解放を共に探りましょう。

「部落差別についてまだわからないけど、学びたい！」そのような方も大歓迎です。ぜひお申し込みください。

部落解放ユースゼミナール 実行委員長 片岡希望

開催時期 2024年 3月中下旬

開催場所 長崎県にてフィールドワークを検討中  
(詳細は後日お知らせいたします。)

お問い合わせ：[blc.youthseminar@gmail.com](mailto:blc.youthseminar@gmail.com)



全国水平社長崎支部



二十六聖人記念館

(長崎人権研究所発行資料『長崎の部落史を歩く』より)